

令和 3 年度 墨田区立墨田中学校 経営報告書

令和 4 年 3 月 1 6 日

学 校 目 標	幸福な生涯を実現し、知識基盤社会を生き抜く人格と力量の修得のため、人権尊重の精神と社会貢献の精神を基調として、知育・徳育・体育の調和のある豊かな人間教育を目指して、次の教育目標を掲げる。 「自ら学び、心豊かで、たくましい」
目 指 す 学 校 像	1 確かな学力を身に付け、自ら考え、主体的に行動する生徒を育成する学校 2 自他の人権を尊重し、思いやりや規範意識など道徳的実践力と自尊感情が育つ学校 3 健康の保持増進や生徒がたくましく生きるための健康や体力向上に努める学校 4 保護者・地域と連携を図り、地域人材を活用してキャリア教育の充実が図れる学校 5 新型コロナウイルス感染状況下において、生徒や教職員の命・安全・健康を第一に考え、教職員が一丸となってこの局面を乗り越えられる学校
目 指 す 子 供 像	1 社会の一員としての自覚をもち、社会に貢献しようとする生徒 2 自ら学び続けようとする意欲を持ち、自ら考え、判断し、主体的に行動できる生徒 3 人権尊重の精神をもち、他者へのいたわりをもって行動できる心豊かな生徒 4 自らの健康に関心をもち、健康で体力のある心身ともにたくましい生徒 5 社会の基本、あいさつのしっかりできる生徒
目 指 す 教 師 像	1 指導の工夫改善を図り、効果的に生徒の学力を伸ばす教師 2 組織の一員として学校経営に進んで参画する教師 3 生徒、保護者、地域と信頼関係を築き、より良い学校や地域を築こうとする教師 4 生徒に寄り添い、最後まで諦めない教師

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

項 目	評 価 項 目	自 己 評 価		学 校 関 係 者 評 価	
		達 成 状 況	改 善 策	自 己 評 価 について	改 善 策 について
各 教 科 等 指 導	学校は、子供に確かな学力を育てるために、分かりやすい授業の実施に努めているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学習状況調査では全学年全教科全巻展で全国平均を上まわる。そのために生徒の学力を分析し、授業の質を全ての教員が墨中スタンダードを徹底することで学力を向上させる。 ・一人1台タブレット端末を用いて、対話的な授業や探究的な授業を展開することで、生徒が主体的に学び、家庭学習においても生徒が自ら進んで学ぶようにする。 ・指導と評価を一体化させ、計画的に学習指導と評価をすすめていく。 ・国の学力調査の国語と数学の成績を全国平均点を上まわるようにする。 ・放課後学数を70回以上解説し、生徒の学力向上の意欲を支援する。 	A	A
	学校は、特別な支援を必要とする子供に対して、組織的に適切な支援を行っているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援校内委員会を中心に不登校について適応指導教室で、特別支援について特別支援教室を運営し、支援の必要な生徒に適切な支援を施し、不登校生徒を減らし、合理的配慮の必要な生徒に配慮できるようにする。 ・肢体不自由な生徒に対しても、車椅子の使用やエレベータの使用等の合理的配慮をしていく。 ・一人1台タブレット端末を用いることで、適応指導教室にお 	A	A

様式 4

			いても特別支援教室においても、生徒の期待に応えられる学習指導をする。 ・専門家や外部機関へ適切に連携する。		
	学校は、子供の将来の自立に向けた進路指導・相談活動に取り組んでいるか。	C	・コロナ禍が収束した段階で、体験学習を通して体験を言語化し、課題の発見と解決をすすめることにより、問題解決能力を高める。 ・ふれあい学習などの体験学習をとおして、自らの将来を考えるキャリア教育を充実させ、将来自己実現するための資質を培う。	B	B
	学校は、教員の指導力・授業力を高めるために組織的に取り組んでいるか。	B	・若手による「墨中スタンダード」に基づく授業と、ベテラン向けにロイロノートを使った研究授業を実施し、新しい試みに挑戦して、新しい授業を墨中スタンダードに提案をする。	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等		<ul style="list-style-type: none"> ・確実に学力は向上しているので、このまま勸めていただきたい。 ・ICTについて、効果的な活用ができるよう、教員への研修等の充実が必要と考える。 ・学校説明会時、特別な支援を必要とする保護者生徒に対する対応を見て、安心感を持ってもらえる働きかけをしていたので、安心して通うことができる対応をこのまま続けていただきたい。 ・コロナの影響により体験活動を実施できていないが、これに代わる体験をできないか考える姿は大切と思う。 ・学力向上の背景には、学校生活が充実していること、落ち着いていることが一つの大きな要因と考えます。今後も充実した学びができる環境・雰囲気作りを進めていただきたい。 ・ICTは今後も技術が進んでいきますので、先生たちがICTのICを活用し、生徒とコミュニケーションが図れる技術を身に付ける研修等も充実していただきたいと思います。 ・コロナ禍で様々な制限の中、とても分かりやすく生徒との距離が近い授業ができていると思います。 ・3年生の英語について、全国平均を下回っているのが気になる。 ・アフターコロナに大いに期待しています。 ・アンケートについては匿名で行っていただければ良いと思います。 		

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
生活指導等	学校は、子供の問題行動の予防や解決に組織的に取り組んでいるか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒への心の教育を充実させ、生徒が自立する意思を持って行動できるように指導する。 ・主幹教諭がリーダーシップをとり、全教員が組織的に生徒の問題行動の予防や解決に取り組むことで、生徒の問題行動の発生を減らす。 ・外部機関や地域、保護者と連携し、さらに積極的に生徒の問題行動へ対応し、困難な課題も解決する。 	B	A
	学校は、子供が基本的な生活習慣を身に付け、望ましい人間関係を作るための心の教育を行っているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の生徒の状況を把握し、生徒の基本的な生活習慣を主体的に身に付けるよう指導する。 ・教科道徳の授業を核に心の教育をすすめ、生徒の心に迫る教育実践をする。 ・ふれあい学習などキャリア教育により生徒が自己実現にむけて努力するように指導する。 ・行事等の生徒が活動する場面を設け、評価の機会を通して主体性を育て、生徒が自ら高めていく意思を育てる。 ・校内適応指導教室と担任の連携により、不登校生徒を登校させ、教室復帰をすすめていく。 ・特別支援教室と担任との連携により、支援の必要な生徒に合理的配慮をすることで学校生活に適応できるよう支援する。 	B	B

様式 4

	学校は、子供の安全を確保するための取組を行っているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の検温健康観察や教室教具等の新型コロナウイルス感染症対策を引き続き継続する。 ・薬物乱用防止、ネットモラル、交通安全教室、救命救急講習など、外部機関と連携して安全指導をする。 ・毎月安全指導の日にワークシートを使って全校で安全指導をする。 ・コロナ禍が収束した段階で、集団行動を伴う避難訓練を実施し、震災・水害等の天災から生徒の生命を守ることができるようにする。 	A	A
	学校は、子供や保護者からの意見や要望を把握し、教育活動の点検や改善に役立っているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会与連携して校則の見直しをすることで、合理的な判断のできる校則により、生徒が主体的に安心できる学校生活を構築する。 ・生徒による授業アンケート、いじめ防止アンケート、保護者に対しては授業アンケート等を通じて、学校の教育活動への意見を集め、今後も改善に努める。 	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等		<ul style="list-style-type: none"> ・感染対応についていねいに行っていることに感謝します。 ・災害対策は、いつ起きてもいいようにコロナ禍であってもできる限り実施していただきたい。 ・生徒主体とする考えはとてもよいと思います。 ・コロナ禍により、取り組みや活動を始め、地域との連携をすすめる関係づくりも難しい状況ではありますが、これまで墨中が意識しているコロナ禍でもできることは何か、できることはやっぴこうという意識を今後も持ち続けていただきたい。 ・学校外の生徒に特に目立って悪い子も見ないです。挨拶もちゃんとしてくれます。 ・墨中の生徒は、あいさつはもちろん、言葉遣い身だしなみ等々規律が素晴らしい。 ・ほとんどの生徒がスマホを持っている時代なのでSNSによるいじめなど学校側も気にかけていただければと思います。 ・今年度は実施できなかったキャリア教育の充実を更に進めたいです。私も子どもをもつ親として、非常に学習意欲や人間形成において重要な教育だと感じています。様々な職業の方を招いて話をしていただければと思います。 ・不登校生が増加しているようで、先生方も大変でしょうが、がんばってください。 ・たくさん体育館の整備が整って来てよかったです。 		
項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
学校の管理運営	学校は、管理職の経営方針に基づき、組織的な教育活動・学校運営を行っているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・経営方針を明示し、主幹会議、企画運営会議を通して各主幹主任がビジョンを持ってリーダーシップをとることで、各教員、各分掌が工夫した教育活動を進めるようにする。 	A	A
	学校は、子供の実態に合わせた具体的な目標の設定及び評価を適切に行っているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価アンケート、行事後の生徒のアンケート等を検討して、諸活動の見直しを進めていきたい。 	A	B
	学校には、適切な教育活動が行える環境・設備等が整えられているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・新校舎の使用が始まって10年経過している。各施設の使用状況から適切な教育活動が行えるように対応する。 ・体育館とプールの老朽化が目立つので充実した教育活動ができるように施設整備に努める。 	B	B

様式 4

	<p>学校関係者評価委員会の意見等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年、昨年と教員個々ではなく、チームとして学校運営を行っているという様子が感じられる。校長をトップとした学校運営目標等に向け、保護者としても協力していきたい。 ・ハード面については、整備を是非進めていただき、子どもたちが充実した学校生活を送れる環境づくりを行っていただきたい。 ・オンラインで授業ができるように先生方のタブレット等を増やして対応してほしいと思いました。
--	-----------------------	---

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
家庭・地域連携	学校は、教育方針や日常の教育活動の様子などを分かりやすく伝えているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で学校公開できないなかでもホームページから学校の日常が分かるように内容を充実させる。 ・学校だよりを月1回発行し、墨田中学校の方針や遠隔、月行事、生徒の活躍等を伝える。 ・学年だよりを週1回発行し、学校生活と生徒の様子を保護者に伝える。 ・COCOOを活用して保護者へ直接連絡が届くようにすることで、保護者が学校の活動を理解し、生徒の生活を指導できるようにする。 ・コロナ禍の収束後に学校公開を実施し、保護者と地域に墨田中学校と墨田中学校生徒を理解してもらう。 	A	A
	学校は、保護者や地域の理解や協力を得て教育活動を進めているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・PTAを支援し、PTAと学校がともに生徒を見守り、生徒を支援していく。 ・PTAに学校と地域の架け橋になってもらい、保護者と地域に支えられる学校となる。 ・地域と中学校が連携して防災訓練を実施する。また、地域の防災訓練に中学生が参加するように呼びかける。 ・生徒会が中心となって生徒の防災組織をつくり、災害時に活躍する中学生を育てる。 ・民生児童委員、主任児童委員と本校教員の連絡会を設け、支援の必要な過程と生徒について共通理解を持って支援していく。 ・コロナ禍が収束するタイミングで、地域行事へ中学生が参加するように学校から呼びかける。 ・同窓会事務局を強化し、同窓会理事会を定期的に開催する。 	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等		<ul style="list-style-type: none"> ・今年は機会少なかったが、校外活動の際、状況を詳細に伝えてくださっていることは、保護者としてはとても有り難く思っています。 ・子どもの学校での様子が分かることは、開かれた学校づくりにもつながるので、今後もよろしくお願いします。また、PTA活動にもご理解いただき感謝しています。学校と保護者が協働することが、いい学校づくりにつながりますので、PTAとしても学校がよりよくなる様、引き続き連携を強めていきたいと思っています。 ・コロナ禍の中で出来る事をして、保護者の立場からしても感謝申し上げます。 ・コロナが終息したら墨中生徒と地域交流の場を増やしていただきたい。 ・オンライン授業の早期導入を強く要望いたします。学数の遅れを防ぐだけではなく、先生や同級生と繋がっている安心感も与える事が出来ると思うからです。 ・先生方には感謝です。 ・学校だよりに、学級担任の先生のコメントがあるといいですね。 ・コロナ禍の中で、先生方の生徒への教育、本当に感謝しております。 		

様式 4

2 令和3年度学校評価のまとめ

- ・授業の取り組み等の学習指導は、学力向上の成果は学力状況調査の成果もあり、評価された。
- ・特別支援教育も合理的配慮を必要とする生徒への対応を評価された。
- ・コロナ禍によって体験学習が実施できなかった事について、コロナ禍でも出来る事を学校が取り組んだことを評価された。さらにコロナ収束後に体験学習の充実を要望された。
- ・ICT活用について評価されながらも、オンライン授業の実施を期待されている。
- ・墨田中学校生徒が地域でも規律正しく挨拶もできていることが受け止められ、学校での落ち着いた生活が評価された。
- ・コロナ禍で不登校生徒が増えていることを心配されている。
- ・新型コロナウイルス感染症感染防止対策を徹底している事を評価された。
- ・防災訓練の充実や地域との連携を求められている。
- ・PTA活動を含めて保護者が学校と協働していきたいという意思がうかがえる。
- ・学校だよりも教員の声を掲載していきたい。
- ・コロナ収束後の学校に大きな期待が寄せられている。

以上の通り報告いたします。

墨田区立 墨田中学校 校長 杉浦 伸一 公印